

令和4年4月9日

令和4年度全国高等学校総合体育大会 京都府予選 兼  
第69回近畿高等学校バスケットボール大会京都府予選  
第75回京都府高等学校総合体育大会市部大会

新型コロナウイルス対策ガイドライン

京都府高等学校体育連盟バスケットボール専門部

本専門部では、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、JBA、全国及び京都府高等学校体育連盟から発出された、新型コロナウイルス感染対策関連の文書を参考に、以下のように感染防止対策を講じます。

現在、部活動等の制限は緩和されていますが、オミクロン亜系統 BA.2への置き換わりによる感染者再拡大が懸念される状況下にありますので、引き続き感染予防を心がけてください。また、今後、京都府教育委員会からの通知等により、ガイドラインを変更する場合もあります。

JBAバスケットボール事業・活動ガイドライン第4版（2021年9月9日作成）が公開されています。各チーム御参照くださいますようお願いいたします。

▼「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン 第4版」(PDFファイル)

[http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA\\_Guideline\\_4th\\_20210909.pdf](http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_4th_20210909.pdf)

1 大会運営全般について

市部代表決定戦について、顧問・コーチ・学校関係者（管理職に限る）・選手・マネージャー、トランジーナー及び大会役員のみ入場可とし、全日程で無観客試合とする。

報道関係者等は大会本部の許可を得るものとする。

スカウティングについては各校2名まで可とする（様式2を持参のこと）

府大会については、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、再度判断する。

2 会場運営について

(1) 可能な限り試合間にゆとりを持たせ、選手・チーム関係者の入れ替えや消毒時間を確保する。ハーフアップありとするが、3密を避けるなど感染防止を心がける。審判、大会役員、T.O・C.Kなど生徒補助員は最小限の人数で行う。T.Oの担当は大会スケジュール通りとする。

(2) 会場はこまめに換気をする。

(3) 各試合終了後、試合が終わったチームは、それぞれ自ベンチ及びその周辺の消毒を行い、速やかに退場する。T.O・C.Kの椅子・用具等の消毒は、担当したチームが業務終了後に行う。必要に応じて手袋を使用する。消毒に必要な物品は本専門部が準備する。

(4) 施設内（出入り口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）については、大会役員で消毒を行う。トイレ・手洗い所等に消毒液を準備し、手指消毒を喚起する。

(5) ベンチ等は隣席との身体的距離を確保できるように設置し、ロビー等でもグループ間は一席（立席の場合1m）空ける。

3 参加者について

(1) 参加者は、体調に留意しながらマスクを着用する。

マスク着用について、感染力の強いウイルスが増えていることから「不織布」マスクを推奨します。  
但しプレー中に装着する場合は、「布・ウレタン」を熱中症・脱水症予防の観点から推奨します。

- (2) 大声を出しての応援やアップは極力控える。試合前後または試合中の握手、ハイタッチなどの接触は避ける
- (3) その他ソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行など、基本的な衛生エチケットを遵守すること。ごみの持ち帰りを徹底し、特に使用後のマスク等を会場のゴミ箱に捨てたりしないこと。昼食時などマスクを外すときは、会話をしないように心がける。
- (4) 水分補給を行うときは、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようすること。
- (5) 接触確認アプリ（「新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA」若しくは「京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス こことろ」）をスマートフォンにインストールすることを推奨する。
- (6) 以下の書類により参加者の行動記録の把握する
- ① 「健康チェックシート」（様式1） 参加者全員 **提出不要**  
大会前2週間における体温及び健康状態他必要事項を記入する。顧問がチーム関係者の健康状態を把握するために活用してください。今回は受付での提出は不要です。  
他団体の協力審判、チーム引率のない審判や大会役員、メディア関係者等については、審判委員長もしくは専門委員長にデータを送信するか、会場主任が当日携帯で写真をとるなどしてデータで保存してもよい。大会参加最終日に受付に提出する。  
府大会・京都府高校総体の様式1については、裏表印刷をして使用して下さい。
- ② 「健康チェック一覧表」（様式2） チーム関係のみ **要提出**  
試合4日前～試合当日の健康状態を各チーム顧問が記入し、大会本部に1部提出する。入館時体温は受付で大会役員が検温し、記入する。少なくとも3ヶ月保管とする。  
個人情報を大会本部に、また状況によっては保健所等に提出する可能性があることは、事前に保護者から同意を取っておくこと。
- (7) 各会場とも顧問は受付時に②を提出する。選手は顧問の指導のもと、「健康チェック一覧表」（様式2）の順番に整列し、検温チェックを受けてからまとまって入館すること。  
遅れてくる生徒がいるときは、その旨を大会役員に連絡する。到着次第、顧問が生徒とともに大会役員に報告してから入館させる。
- ※大会各会場でのタイムスケジュールは別紙参照【会場ごとに競技委員が作成、顧間に送付】**
- (8) 試合会場及びその行き帰り等に複数で飲食しないこと。
- (9) 体調不良者への対応について
- 入館時の検温について、非接触式体温計で2度計測しても37.5℃以上の場合は、電子体温計を用いてわきの下で検温し、それでも、37.5℃以上の場合は、体調不良者と判断します。前日までの活動状況によって、該当者のチームは参加の辞退をお願いする場合があります。
- 新型コロナウイルス感染が疑われる体調不良者の対応については、JBAガイドライン第4版P14～を御参照ください。「体調不良者との接触」には試合中も含まれます。場合によっては勝ちチームに出場辞退をしていただくこともあります。

#### 4 その他

- (1) 感染拡大やチーム参加状況により、大会途中でも大会中止とすることがあります。
- (2) 顧問の先生は、選手の練習不足等の影響による傷害の防止に努めてください。
- (3) 来場される学校関係者（管理職に限る）も健康チェックシート（様式1）もしくは健康チェック一覧表（様式2）への記載が必要です。もしくはそれに代わるものを持参ください。
- (4) 記載内容は、各校顧問から学校関係者、生徒や保護者に連絡し遵守るようにしてください。
- (5) 試合4日前～試合当日において、感染または感染の疑いがある場合は、大会感染対策責任者（競技委員長（京都市立紫野高等学校 岩崎健太）、大会当日は会場主任）に御報告下さい。